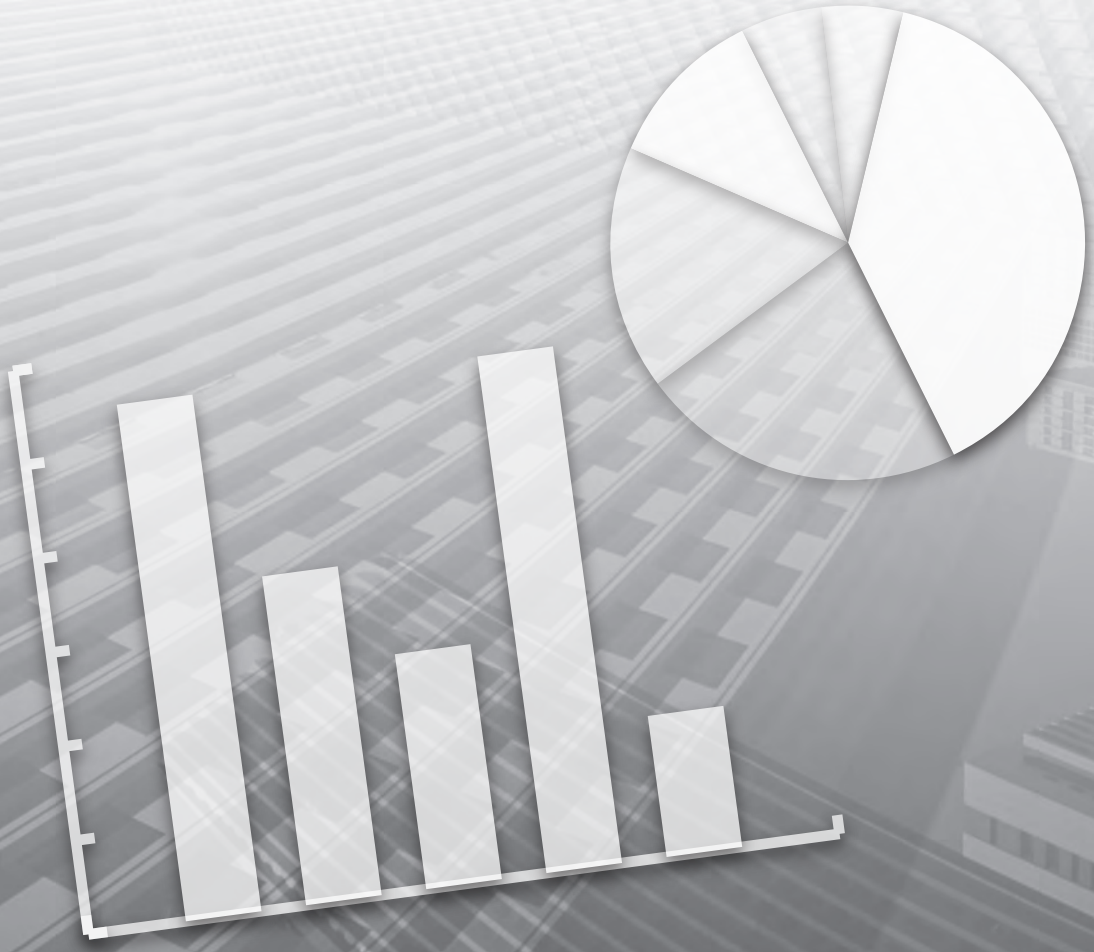
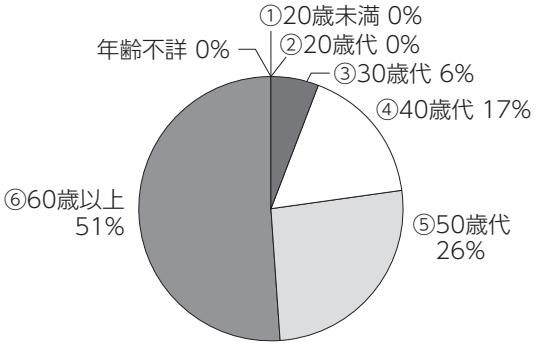
神戸会場

アンケート集計結果



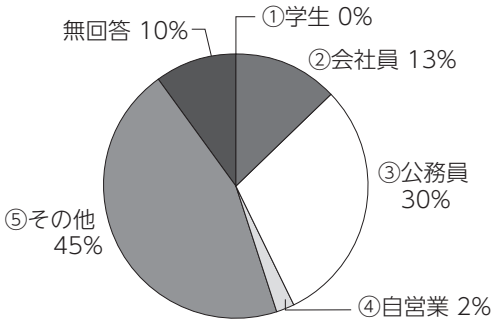
1　年齢構成

① 20歳未満	0 人
② 20歳代	0 人
③ 30歳代	3 人
④ 40歳代	8 人
⑤ 50歳代	12 人
⑥ 60歳以上	24 人
年齢不詳	0 人



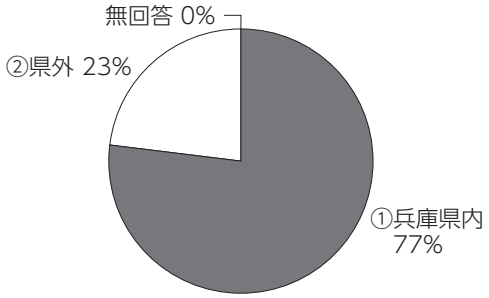
2　職業構成

① 学生	0 人
② 会社員	6 人
③ 公務員	14 人
④ 自営業	1 人
⑤ その他	21 人
無回答	5 人



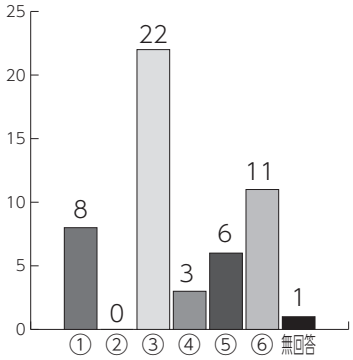
3　住まい

① 兵庫県内	36 人
② 県外	11 人
無回答	0 人



4　本シンポジウムを知ったきっかけ（複数回答）

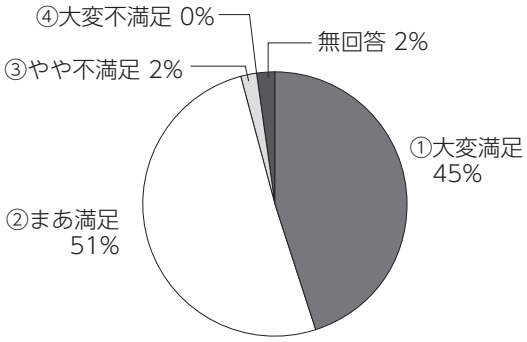
① 新聞	8 人
② テレビ	0 人
③ チラシ	22 人
④ インターネット	3 人
⑤ 知人・家族	6 人
⑥ その他	11 人
無回答	1 人



5　本シンポジウムについて

（1）全体満足度

① 大変満足	21 人
② まあ満足	24 人
③ やや不満足	1 人
④ 大変不満足	0 人
無回答	1 人



(2) 本シンポジウムについて特に良かった演目（自由記入）

東日本大震災の現場から来られた方のお話が印象に残りました。大人も子どもも「一緒にやっていこう」この気持ちが大切で心が打たれました。

パネリストによる発表、ディスカッション、上映、トークショーと内容に変化があり、どの演目も良かったと思います。

シンポジウムでパネリストそれぞれの立場から震災時、復旧復興時の人々の様子、取り組み、課題の発表があり、大変勉強になった。特に阪神淡路大震災と東日本大震災との比較にも言及され、非常に奥深いご意見を伺えた。人権の尊重されるまちづくりを考える良い機会になったと思います。

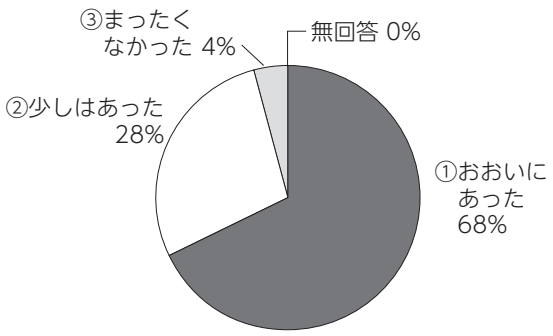
地震活動期に入った今、被災者の方々の感情のこもったあからさまな体験談や具体的な対処法のお話はまだ被災を受けていない地域に住む私にとって「これから体験すること」と有難く、また真剣な関心をもって拝聴しました。

岩切の女性のお話を聞きながら、1.17を思い出しました。家も仕事も無くしたときは、なんで～と思いました。まだ命だけがあったので良かったと思うようにしていますが…1.17のメモリアルウォークには毎年参加し、忘れないようにしています。1.17、3.11を忘れないようにしたいと思います。先生方のお話分かりやすく、また学びたいです。ありがとうございました。

※主な回答を抜粋

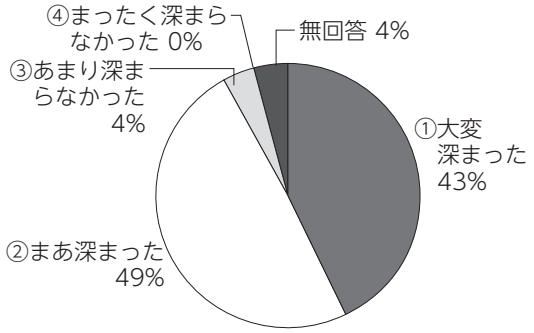
6 本シンポジウム参加以前に、人権問題についてどのくらい関心や理解があったか

① おおいにあった	32 人
② 少しはあった	13 人
③ まったくなかった	2 人
無回答	0 人



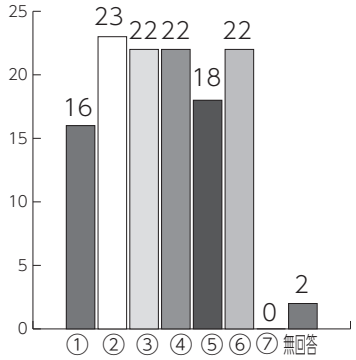
7 本シンポジウムに参加して、人権問題についての関心や理解は深まったか

① 大変深まった	20 人
② まあ深まった	23 人
③ あまり深まらなかった	2 人
④ まったく深まらなかった	0 人
無回答	2 人



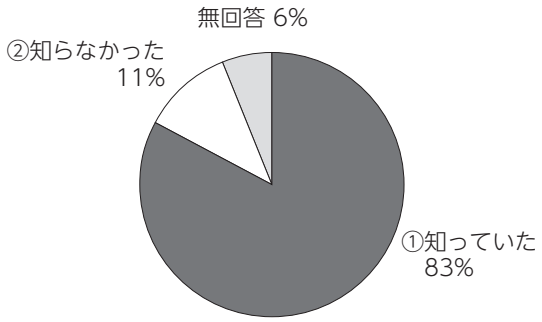
8 本シンポジウムに参加して、何か行動しようと思ったか（複数回答）

① 被災地支援を行いたい	16 人
② 今後起こりうる震災・災害に備え、防災対策を行いたい	23 人
③ 人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい	22 人
④ 人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会をもちたい	22 人
⑤ 今回のイベントの内容を、友だちや家族に説明し、話し合いたい	18 人
⑥ ほかの人権問題に関するイベントにも、機会があれば参加したい	22 人
⑦ その他	0 人
無回答	2 人



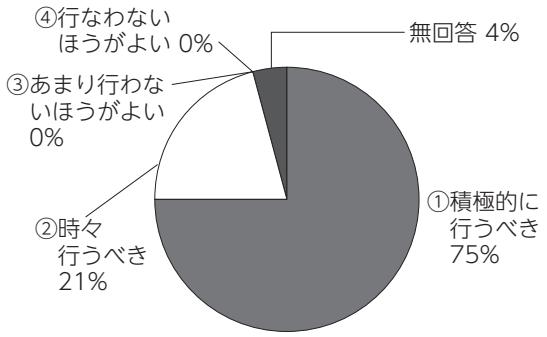
9 国や地方自治体が、広く人権啓発事業を行っていることは知っていたか

① 知っていた	39 人
② 知らなかった	5 人
無回答	3 人



10 今後、このようなシンポジウムを行なうべきだと思うか

① 積極的に行うべき	35 人
② 時々行うべき	10 人
③ あまり行わないほうがよい	0 人
④ 行なわないほうがよい	0 人
無回答	2 人



11 今回のシンポジウムについてのご意見や今後開催してほしいテーマなど（自由記入）

同和問題　運動団体が主催する研究会や講演会は多いが、一般の方々が参加しにくい。子どもたちの教育や結婚、ネット上の差別等、今も多くの課題が大衆の知らないところで進行している。行政や国民がどう対応していくべきかについてのテーマでシンポジウムを開催していただきたい。

本日の内容全体を通して、人と人とのつながり作りをどう工夫して深めて広げていくか、という点が重要であると感じました。お世話になりました。ありがとうございました。

今回のシンポは、1.17と3.11を重ねる意味と時宜を得て、タイムリーな適切な企画であった。「震災と人権」をテーマとした人権啓発は、とても大変な視点であると考える。語り継ぐ人権教育・啓発と語り継ぐ防災教育を結びつけて考えていきたい

・防災教育と心のサポートを一緒にと言うお話でしたが、ぜひお願いしたいと思います。
・道徳の時間も少なすぎるように思います。「記録より記憶」小林先生のお話強く感じました。その通りだと思いました。
・思いを伝える経験したものでなければ分からないと強く思います。「雄勝の法印神楽」ドキュメンタリー映画、感動しました。硯の町と言う事も知りました。
・終了時間がちょっと遅いと思います。せっかく手塚さんが来られているのに、途中で帰られた方もおられ残念でした！

地域ネットワークや男女共同参画などが今後の日本の社会生活の中で、大変重要な事になります。このような内容のセミナーをもっと希望します。

※主な回答を抜粋

広報内容

広報実績

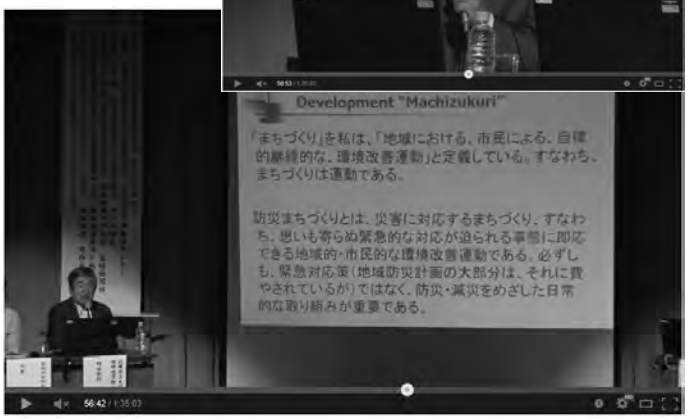
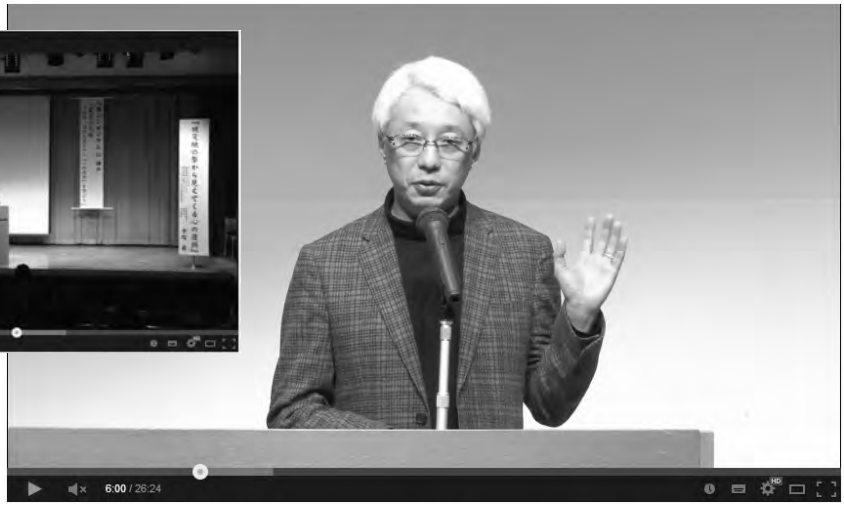
No.	事　　項	実施内容
1	新聞広告	・1紙に半5段広告を掲載。 神戸新聞：平成26年1月4日（土） ・折込チラシを実施。 読売新聞・朝日新聞：平成26年1月5日（日） 部数：71,350部 エリア：東灘区、灘区、中央区
2	ラジオ広告	・ラジオ関西に20秒CMを10本放送、60秒生CMを2本放送。 平成26年1月1日（水）～1月6日（月）の期間。
3	バナー広告	・開催2週間前よりMarketOne（兵庫県内）を実施。 クリック保証型：1,000クリック／1,500,000imps
4	広報用チラシの配布	・広報用チラシを関係機関等に配布、掲出を依頼。 神戸地方法務局（1,000部） 全国の法務局・地方法務局（980部）※神戸地方法務局を除く 兵庫県（1,500部） 神戸市（2,000部） 兵庫県内市町（1,200部）　※神戸市を除く。 後援団体（540部） シンポジウム実施会場（50部） その他、全国の自治体などに配布。 ※チラシ印刷部数：13,100部
5	イベント情報サイトへの広報記事掲載	・インターネット上のイベント情報サイトに広報記事を投稿、掲載。全国イベントガイド、WAMNET（ワムネット）など計16サイトに掲載。
6	メールマガジンの配信	・本シンポジウムの開催を案内するメールマガジンを計3回配信。
7	人権ライブラリーホームページへの広報記事掲載	・人権ライブラリーホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。
8	人権センターホームページへの広報記事掲載	・人権センターホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。
9	各種ボランティア団体等への案内メール配信	・震災関係を中心とした各種ボランティア団体等に対して、案内メールを配信。配信先は約700件。

新聞・バナー広告

【半5段広告】
神戸新聞　平成26年1月4日（土）朝刊掲載
エリア：兵庫県
部 数：555,003部

【バナー広告】

実施内容の周知

YouTube 人権チャンネル

人権シンポジウム in 神戸の模様は、YouTube人権チャンネルにおいて、動画を配信した。
https://www.youtube.com/jinkenchannel